

『ユニバーサルデザイン』を創る

こんにちは!! 造形学部陶芸コース B (以下陶芸 B) の活動報告を致します。
活動報告の様式は、新型コロナウイルス感染 (以下コロナ禍) 以前と現在の活動の相違点等を記載する形式で行います。

【1】展示会等への出展状況

コロナ禍以前は、下記への出展・訪問等を行い、作陶完成もその出展時期に合わせて準備しておりました。本年度は、(1)(2) が実施されず、(3) が未定ですので (4) のみの実施となります。

<コロナ禍以前の出展等への対応>

- (1) 京葉学園自治会主催の作品展示会への出展とバザー品の供出 (12 月下旬講堂)
- (2) 生涯大学五学園共催の五学園展への出展 (1 月中旬県立美術館)
- (3) 千葉市緑区の介護老人保健施設の訪問 (訪問時期は不定期。作品 (ユニバーサルデザイン) を携えての訪問⇒作品は完成したものの、コロナ禍により訪問日未定)
- (4) 校外学習として美術館訪問 (県内外の美術館訪問⇒3 月上旬千葉市美術館予定)

【2】「ユニバーサルデザイン」を創る

上記 (3) の介護老人保健施設訪問時には、陶芸 B の学生が作陶した「ユニバーサルデザイン (UD) の作品」を持参することになっていますが、コロナ禍により介護施設側との訪問日程等の協議が整っていないので、次年度以降にずれ込むことになりそうです。

今年度は 12 月中旬に全員の UD 作品の本焼きが完了し (添付写真は、UD 作品と生徒の自主作品と一緒に窯出しした時のものです)、作品を持参できる体制となりました。引渡し次年度以降にずれ込むようでしたら、大野先生と石橋先生、次の陶芸 B の皆さんに後をお願いすることになります。

森 ユニバーサルデザイン (UD) とバリアフリー (BF) の違い

「ユニバーサルデザイン (UD)」は、1980 年代に提唱された比較的新しい考え方ですが、「バリアフリー (BF)」と混同しやすいので注意が必要です。また、意匠権等の特許関連においても、商業ベース上での問題が生じる前に整理しておくべき事項があるようです。

* UD : 最初から障害を無くしたものを作る。⇒ 民間主導型

国籍や性別、年齢、障害の有無に関わらず、はじめから全ての人が出来るだけ使いやすく、便利なものを作る。⇒ アイデアが湧かず、本当の UD は難しいです!

※ BF : 既存のものを改善し、障害をなくす。⇒ 行政主導型

高齢者、障害者、子供が社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や精神的な障壁 (バリア) を取り除き生活しやすくすること。

以上